

掴め君の未来を！

令和5年9月号

慶進中学校・高等学校
進路部
令和5年9月1日発行

3年生は、夏休みが明け、入試本番が近づいてきました。受験生にとってこれからが追い込みの時期です。最新の入試情報を押さえ、残された時間を有効に活用して、学習を進めましょう。また、推薦・総合型選抜で受験する生徒は、志望理由書作成や面接・小論文対策のための活動を活発化させる時期になります。一方で、一般選抜型入試組の生徒はその姿を見て焦りや迷いを感じるかもしれません。ただ、入試区分別の募集人員では、あくまで一般選抜型が大半を占めている(国公立大では8割弱)ということをお忘れずに、他の生徒の受験動向に惑わされることなく、着実に自らの学力を高めることに集中しましょう。ここにきての焦りや迷いは禁物です。2年生はあと半年で受験生です。難関大合格者の半分以上が2年生の冬休みまでに受験勉強を始めているというデータがあります。志望する進路を実現するために、今から受験勉強を始めましょう。1年生はもうすぐ、進路選択の第一歩である文理選択が行われます。必要な情報を踏まえて、後悔ない文理選択ができるようにしましょう。

●大学入試トピックス ～2023年度「大学入試共通テスト模試・6月」(ベネッセ)の概況

(ベネッセハイスクールオンラインの記事より作成)

【近年の入試環境】18歳人口の推移をみると、2021年度入試を境にして2024年度入試まで大きく減少が続く。現高校3年生が受験する2024年度入試では約107万人と予想され、2020年度入試を基準として約9%減少することになる。全体的に入試競争は緩和される傾向にあるといえる。また、2024年度入試は、翌年の2025年度入試が新課程入試となるため、浪人を避けたいという心理から、現役志向、安全志向の高まることが予想される。

【受験状況と志望動向】今年度大学入学試験共通テスト模試・6月の総受験者数は400,515人で、対前年指数96とやや減少した。国公立大の志望者数は対前年指数97、私立大の志望者数は対前年指数96といずれもやや減少した。教科型別の受験者数をみると、5-8文系は対前年指数95、5-7理系は対前年指数97と、5教科型では理系の方が志望者数の対前年指数が大きくなった。3教科型では私文3教科、私理3教科とも対前年指数96となった。

【学部系統別の志望動向】国公立大では全体の志望者数の対前年指数に対して、経済・経営・商学、社会学、医学、歯学、理学、農・水産学系統などの指数が上回った。一方で、国際関係学、生活科学、薬学系統などでは志望者数の減少がめだつた。近年、コロナ禍の影響もあり、医療系の学部系統で志望者数増加が続いていたが、現3年生では薬学系統では人気に落ち着きがみられる。近年は理系人気の傾向が続いていたが、現3年生では明確な理系人気の傾向はみられなくなっているといえる。

【国公立大の志望動向】国立大の志望者数は対前年指数96、公立大は99となっている。難関国立10大(北海道大、東北大、東京大、東京工業大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大)の志望者数は対前年指数96、ブロック大(筑波大、千葉大、横浜国立大、新潟大、金沢大、岡山山大、広島大、熊本大、東京都立大、大阪公立大)の志望者数は対前年指数98、その他の国公立大の志望者数は対前年指数97となった。新課程を前に安全志向が予想される環境においては、強気の志望の生徒が多いといえる。

【私立大の志望動向】難関私立大の志望動向をみると、早慶上理、MARCH、関関同立の難関13私立大の志望者数は対前年指数97と私立大全体の志望者数の対前年指数96をやや上回った。国公立大と同様に新課程を前に安全志向が予想される環境においては、強気の志望を貫いている生徒が多いとみられる。

●共通テスト手続きの流れ

「大学入学共通テスト」を出願するための手続きについて、ここで確認しましょう！

出願 高校経由で出願(校内締切日までに学校に提出)

- ①受験案内配布・説明会の実施(9月初旬) ②志願票記入
- ③受験料納入 ④担任に提出 ⑤出願(学校から)

共通テストの志願票は、学校で配布・説明し、下書きをする。各家庭で清書と受験料納入を済ませて、学校に提出する。

確認はがき配布(11月頃)

氏名などの個人情報の確認、受験科目の最終確認

出願後に、確認のためのハガキが学校に届く。配布されたら、氏名や受験科目など、自分が志願票に書いた内容と一致しているかどうかを確認し、間違いがなければそのまま、間違いがあれば訂正し、学校に提出する。

受験に関する校内説明会(12月)

共通テスト受験票配布

受験会場や日程、持参物、受験後の日程について説明

受験票は冬休み前ごろに学校に届く。届いたら、受験に関する校内説明会が開かれ、そこで配布される受験票を、共通テスト当日持参する。受験票は大事に保管しましょう。

本試験(1月13日・14日) **追試験**(1月27日・28日)

●受験報告書・推薦入試過去問

コミュニケーションルーム(通称「赤本の部屋」)では、先輩方が残してくれた受験報告書と推薦入試過去問を閲覧できます。推薦・総合型選抜の入試は、一般入試と比べて受験方法や入試問題の情報を得ることが大変重要で、いかにそれらの情報を得て事前準備をしていくかがポイントになります。その意味でも、先輩方が残してくれた受験報告書や過去問は、慶進高校にとっての大切な財産です。これらの資料はもう2度と入手できないものばかりですので、扱いには十分気を付けてください。コミュニケーションルームからの資料の持ち出しは厳禁です。



●先輩の合格体験記 総合型選抜で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載しています

九州大学人文学部 (中高一貫コース卒業)	山口大学教育学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学工学部 (グローバルコース卒業)
【後輩へのメッセージ】 私は共通テストで失敗をしました。一般入試では九大を目指すには、相当厳しい状態でした。しかし、興味を持っていた古墳をテーマに総合型選抜にチャレンジしていたおかげで、無事志望校で学ぶ機会を掴むことができました。「この大学で学びたい」という強い意志を持っている方は、ぜひ総合型選抜にチャレンジしてみてください。準備は大変ですが、合格を掴むチャンスはひとつ増えます。 【こうしておけば良かったと思うこと】 試験前の科目の確認は、問題用紙・解答用紙ともに、絶対に欠かさないでください。私は共通本番で、間違えて途中まで世界史Aを解いてしまうという大失態を犯しました。大量失点につながってしまいますし、メンタルもやられるので、日頃から確認を怠らないようにしてください。	【後輩へのメッセージ】 総合型選抜を攻略していく上で重要なことは「長期的な対策をしていく」ことです。その対策は3つあります。①本を読む、②ニュースに触れる、③イベントに参加する、これらのことを1年生の頃からコツコツ頑張りましょう！ 【学校生活や部活で頑張ったこと】 生徒会とディベート部に所属しました。生徒会では、地元企業の方々と交流したり、慶進祭で企画部を立ち上げ、リーダーとして活動したりしました。ディベート部では、パブリックディベート大会で優勝したり、志ミーツに参加して山口県知事などにプレゼンテーションをしたりしました。 【良かったこと】 良かったことは、生徒会で出会った戦友たちと一緒に入試に向けて高め合えたことです。情報交換したり、志望理由書を見せ合ったりしたことは良い対策になりました。	【後輩へのメッセージ】 とにかく勉強を頑張れば良いと思います。とは言いつつも私の高校生活の中心は部活でした。だからメリハリを大切にできました。グローバルコースは、部活生が多いので、メリハリが大事だと思います。 【学校生活でがんばったこと】 生徒会活動では、オープンキャンパスのMCや体育祭の実行委員長をしました。進路のための学習として、夢ナビやプレーパークに参加しました。どちらも部活動とのバランスを意識して、先生と連携をとりながら、主体的に活動しました。 【後悔していること】 後悔したことは、受験の準備を始めるのが遅く、書類をぎりぎり提出してしまったことです。

●志望理由書を書いてみよう

(蛭雪時代2022年7月臨時増刊号の記事を基に作成)

推薦・総合型選抜では、ほとんどの場合、志望理由書の提出が求められます。志望理由を軸に、自分の熱意やその大学への適性などをアピールする書類です。また、面接の際に面接者の資料となり、志望動機を中心に質問がなされる“超”重要書類でもあります。志望理由書を書くにあたって、その大学についてよく調べることが重要です。それと同時に、自己分析をしっかりとしましょう。大学側は「今まで何をしてきたか」「大学で何をやりたいか」「卒業後どんな人物になりたいか」を知りたがっています。また、書く内容より先に注意したいことは「具体的に書くこと」です。なぜ興味をもったか、今度どのような勉強をしていきたいかなど、自分の経験を入れ込みながら、具体的に書きましょう。志望理由書の作成は自問自答を繰り返す作業です。なお、右のチェックシートの質問に沿って回答していけば、志望理由書の基本的な枠組みができます。挑戦してみよう！

『志望理由書』自己分析チェックシート
Q1: 将来就きたい職業、興味のある学問分野は?
Q2: その職業に就いて、その分野を学んで、どんなことがしたい?
Q3: そう思った理由、きっかけは?
Q4: Q1やQ2に関連して、高校時代にどんなことをした?
Q5: Q2を実現するために、大学で何を勉強したい?
Q6: Q2を実現するために、この大学が一番いい?
↓
「私は以上の理由から、貴学を志望します」

志望理由書のイメージ

●秋からの受験戦略(3年生)

(蛭雪時代2023年9月号の記事を基に作成)

受験生生活も折り返し地点を過ぎ、もうすでに共通テストまで約4か月、国公立大の前期試験まで5か月強というところまで来ました。この限られた期間で、これまで以上に時間と成果を意識して、戦略的に学習を進めることが重要になります。以下で、受験勉強後半戦の学習プランのプランニングについて紹介していますので、参考にしてください。

- 【学習プランの鉄則】**
- ① 課題を把握する…過去問+現状分析で
 - ② 学習内容・量を絞り込む…捨てる勇気も必要
 - ③ 得点&効率を重視する…“伸びる部分”を優先的に
 - ④ 問題演習を軸にする…アウトプット型学習で実践力アップ
 - ⑤ 志望校対策の時間を確保する…主題傾向にあった対策を練る

- 【プランニング】**
- STEP1 志望校の合格最低点を確認する
 - STEP2 出題傾向と現状学力を分析する
 - STEP3 各科目の目標得点を設定する
 - STEP4 受験までの全体計画を立てる
 - STEP5 週単位の計画を立てて実行する



9月の進学スケジュール

- 8月31日(木)・9月1日(金) 実力テスト(Ⅲ)
- 9月上旬 大学入学共通テスト 校内説明会(Ⅲ)
- 8日(金)・9日(土) ベネッセ駿台共通テスト模試(Ⅲ)
- 11日(月)~13日(水) 実力強化合宿(ⅠA)
- 19日(火) 学校推薦型選抜 校内選考結果発表(Ⅲ)
- 30日(土) 実用英語技能試験一次(2~5級)